

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 41	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 シクラメンにおけるアザミウマ類防除方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】シクラメンのアザミウマ類の防除対策として赤色防虫ネットの普及を進めているが、既存の防虫ネットの張替え時期を待つことや、換気性を考慮して天窗への展張を行わないこと等の理由から思うように普及していない。そこで、より取り組みが容易な防除方法が望まれる。 【内容】温室を締め切り室温を上昇させる「蒸し込み」は、アザミウマ類にも有効との知見があるが、夏季の高温を嫌うシクラメンには、適用が難しいと思われるので、短時間処理の可能性について検討をお願いしたい。 【対象地域及び規模】シクラメン40戸、約200,000鉢	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 短時間の高温処理によるアザミウマ類の防除については、農研機構等の試験結果があり、アザミウマの種類、生育ステージによりますが、42.5℃150分、45℃60分、50℃25分程度で死滅が確認されています。一方でニラ等では、高温による作物への障害についても報告されています。 シクラメンでは施設内の日最高気温が35℃前後になると、葉の黄化等が起こることから、アザミウマ防除を目的として、一時的にでも40～50℃の高温に遭遇させることは、生育に重大な影響が生じると考えられます。 非常にリスクの大きな方法であり、高温処理により一時的に殺虫しても、根本的な対策にはならないため、防虫ネット、天敵、薬剤などの組み合わせによる体系的な防除に努めるべきと考えます。他作物で処理方法などに関する新たな知見が得られれば、課題化を検討します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			